

こちら特報部

ところで、お気づきかもしれないが、語ってくれたのは男性ばかりだった。一方の女性はいない。

「兄がサッカーをしていたので、ロナルド選手やメッシ選手は聞いたことがあるけど…。イニエスタ選手は分からない」。川崎市の大学一年生の伊藤華さん(心)は首をかき上げる。

伊藤さんだけではない。ほかの女性も、メッシ、ロナルドの両選手は知っていても、イニエスタ選手には「？」。純朴そうな容姿のせいか、それともゴールを量産する派手な活躍がないためなのか。十人ほどに声を掛けたところで、語ってもらったのをあきらめた。

それでもJリーグ入りして活躍すれば、すぐに知名度も上がる。では、イニエスタ選手は下馬評通りの働きができるのか。果たして「イニエスタ効果」はどれくらいあるのだろうか。

サッカージャーナリストの後藤健生氏は「全盛期ではないにせよ、今でも世界で十指に入る。まだまだ三、四年はトップレベルの選手であり続けるだろう。そんな選手が来れば、神戸の選手だけでなく、Jリーグ全体のレベルアップにつながるだろう」と期待する。パスをつなぎながらゴール

女性には知名度いまいち

「メッシは知ってるけど」

地味でも「世界で十指」



るだろう」と話す。

逆に、いちサッカーファンの作家で元長野県知事の田中康夫氏はやや懐疑的な見方。「世界で通用する日本のサッカーを目指し、三顧の礼でハリルホジッチ監督を招聘したはずなのに、世界標準を掲げて厳しく指導した彼の人格を否定し、W杯メンバーの人も選も、国内のスポンサーや観客受けを『村度』ファーストしている。こうしたムラ社会の意識を変えなければ、世界で通用するわけがない。イニエスタ一人が来てどうこ

逆らった経営を各クラブに求めているJリーグの「ファイナンシャルフェアプレー」という方針に反するようにも見える。果たして、それだけ払う意味はあるのだろうか。

田中氏は神戸のオーナー企業である楽天の戦略があ

うなる話じゃない」

確かに、過去にも、ジーコやリネカー、ダウンガ、最近ではフォルランといった世界的な一流選手がJリーグ入りした。中には日本サッカーと合わず、活躍できなかった選手もいた。

また、仮に「イニエスタ効果」が絶大だったとしても、年俸は三十億円を超えらるるとみられている。とてつもない金額で、それは約三十八億円という神戸の二〇一七年シーズンの売上高と比べれば明らかだ。

安定した経営を各クラブに求めているJリーグの「ファイナンシャルフェアプレー」という方針に反するようにも見える。果たして、それだけ払う意味はあるのだろうか。

田中氏は神戸のオーナー企業である楽天の戦略があ



終盤の試合で最後のゴールを挙げ、仲間に胸上げされるイニエスタ選手=ロイター

リーグのレベルと人気向上に期待

ルに迫るパスサッカーを目指すのがバルサのスタイル。その要になってきたイニエスタ選手のプレーが、「日本でパスサッカーの良さが見直される契機になる可能性もある」とも語る。

前出の大住氏も「Jリーグ草創期にジーコが鹿島アントラーズに来て、世界のサッカーとはこういうものだ」と示したときよりは、Jリーグ選手との実力差は縮まっていると思う。それでも絶大な存在感を發揮す

るとみる。「楽天はネット通販分野でアマゾンに押されている。一方で、ドコモなどに次ぐ第四の携帯電話会社としての参入も表明している。そういう状況で、イニエスタという世界的選手を一本釣りすることで、世界中で楽天のネームバリューが上がるなら、三十数億円という年俸など安いものだ。こう実業家の三木谷オーナーは判断したのである。高額で外国人タレントを起用したバブル時代のCMを思い出す」と語る。

一方、後藤氏は「Jリーグは安定、安定という意識が強くなりすぎて、サッカーファン以外の普通の人たちに対してのアピール力が落ちてきている。イニエスタを知らなくても、年俸三十数億円の選手が来た、ということではJリーグに目が向けばいいのではないか」と期待を語る。

昔、パチンコ店で有名な歌手にそっくりな人を見かけた。よく似た人がいると思ったら、その夜のテレビ番組。近くのホールでこの歌手が歌う姿を生中継していた。たとえ有名でも、町中ではなかなか分からない。外国人ならなおさら。たぶんイニエスタ選手には気付かない。(裕)